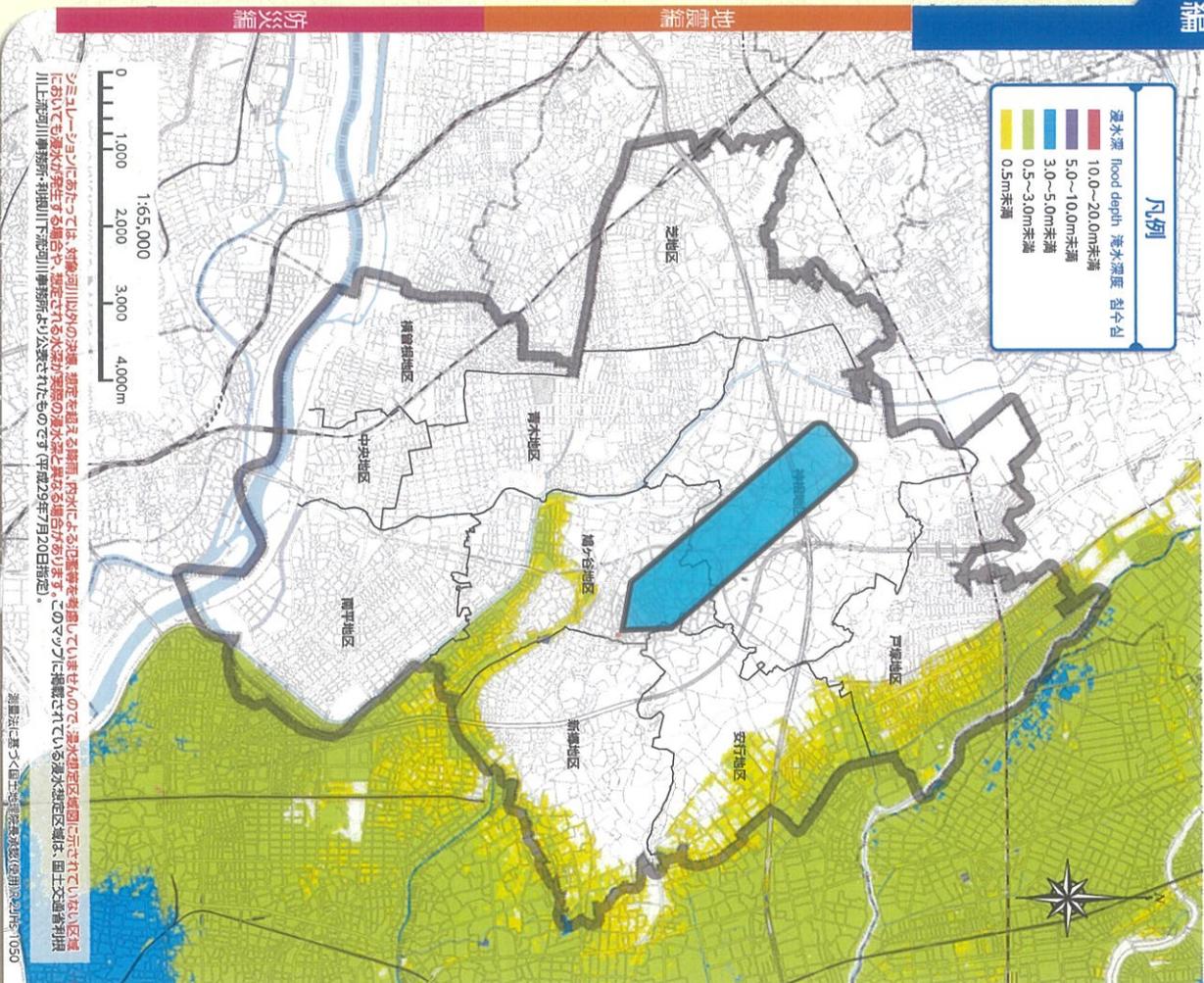


### 利根川洪水ハザードマップ

このマップには、72時間の総雨量を491mmと想定する最大規模の降雨により、利根川の堤防の決壊等が発生した場合に想定される浸水範囲、深さを示しています。

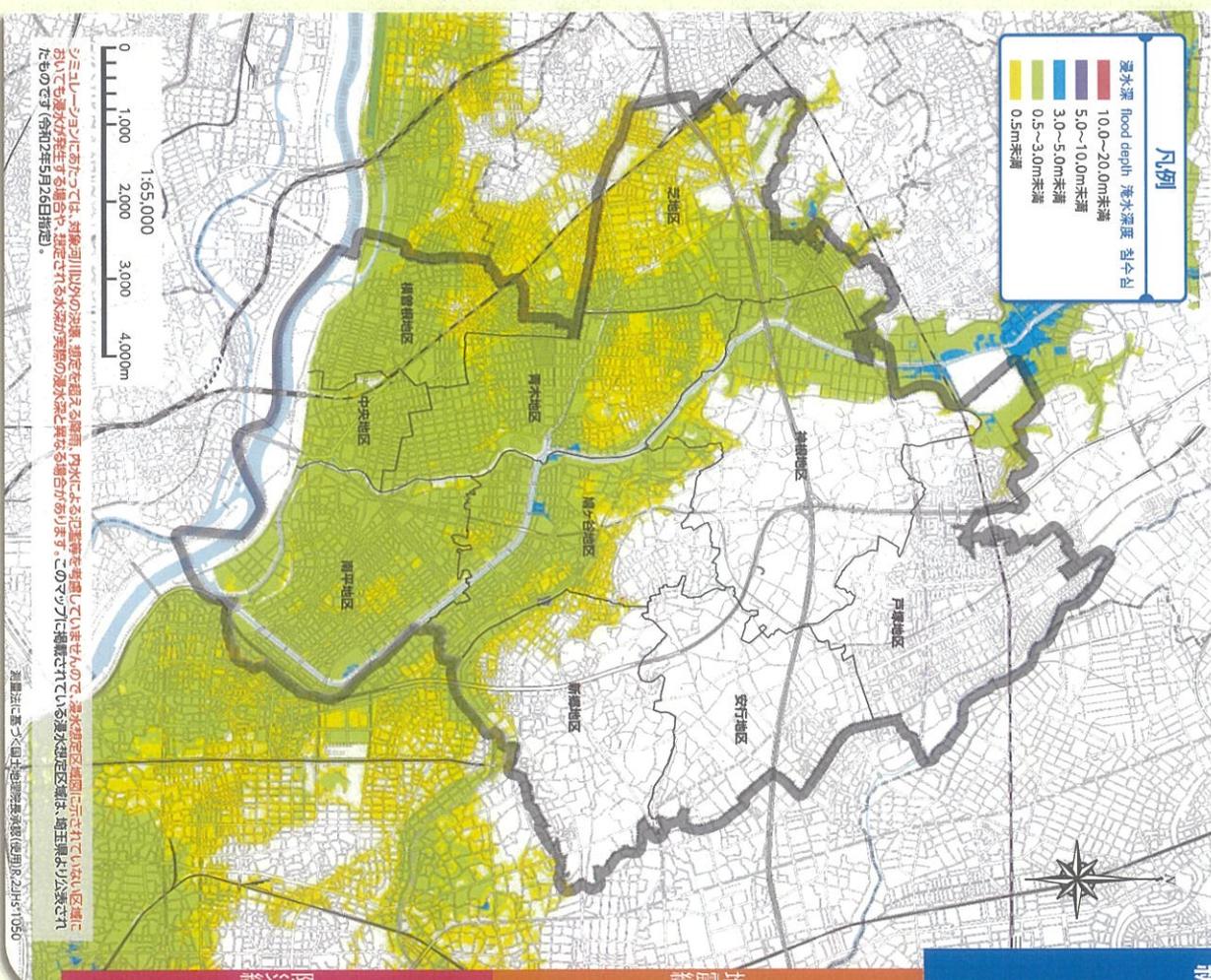


シミュレーションには、利根川以外の河川、想定を超える降雨、内水による浸襲等を考慮していませんので、浸水想定区域範囲に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水害が実際の浸水と異なる場合があります。このマップに掲載されている浸水想定区域は、国土交通省利根川上流利根川事務所・利根川下流利根川事務所より公表されたものです。(平成29年7月20日現在)

測量法に基づく国土情報院長官印(使用)R.2145\*1050

### 。芝川・新芝川洪水ハザードマップ

このマップには、2日間の総雨量を839mmと想定する降雨により、芝川・新芝川において越水や堤防の決壊等が発生した場合に想定される浸水範囲、深さを示しています。

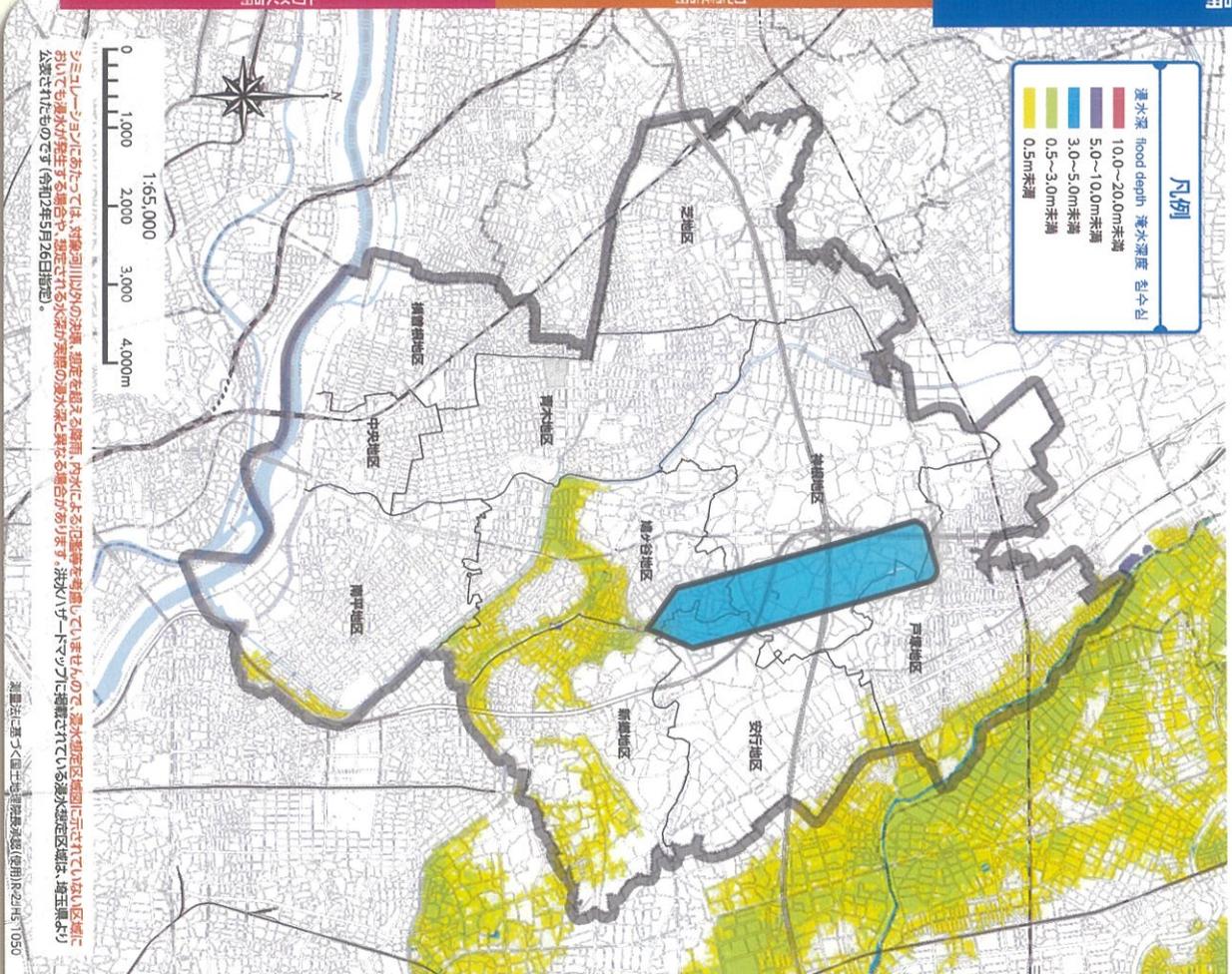


シミュレーションには、利根川以外の河川、想定を超える降雨、内水による浸襲等を考慮していませんので、浸水想定区域範囲に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水害が実際の浸水と異なる場合があります。このマップに掲載されている浸水想定区域は、埼玉県より公表されたものです。(令和2年5月26日現在)

測量法に基づく国土情報院長官印(使用)R.2145\*1050

## 中川・綾瀬川洪水ハザードマップ

このマップには、48時間の総雨量を596mmと想定する降雨により、中川流域において越水や堤防の決壊等が発生した場合に想定される浸水範囲、深さを示しています。

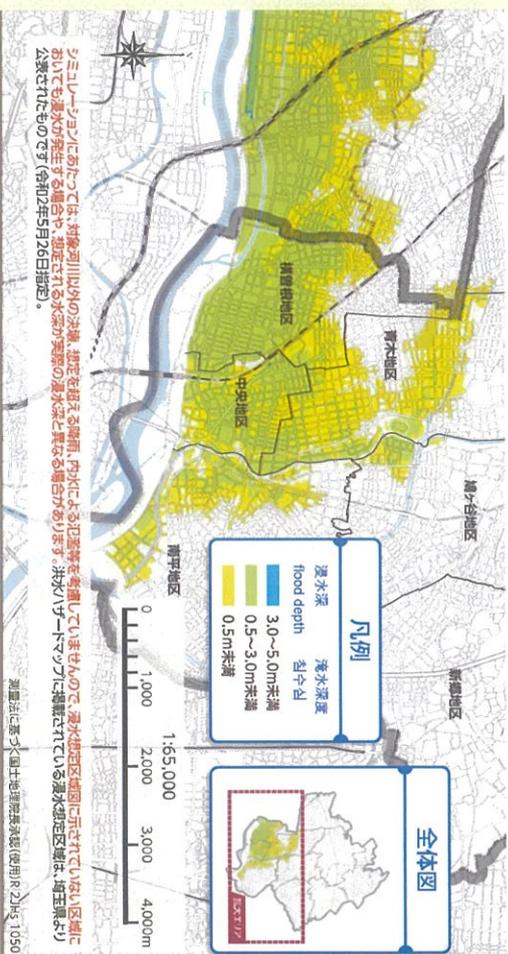


シミュレーションにあたっては、対象河川以外の決壊、想定を超える降雨、内水による浸透等を考慮していませんので、浸水想定区域図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。おたけハザードマップに掲載されている浸水想定区域は、埼玉県より公表されたものです（令和2年5月26日推定）。

測量法に基づき国土地理院長承認（使用）R2JH5 1050

## 鴨川・鴻沼川洪水ハザードマップ

このマップには24時間の総雨量を674mmと想定する降雨により、鴨川・鴻沼川において越水や堤防の決壊等が発生した場合に想定される浸水範囲、深さを示しています。鴨川・鴻沼川は上尾市、さいたま市西部を流れる河川で、直接市内を流れていませんが、氾濫した場合は市内にも浸水が想定されます。

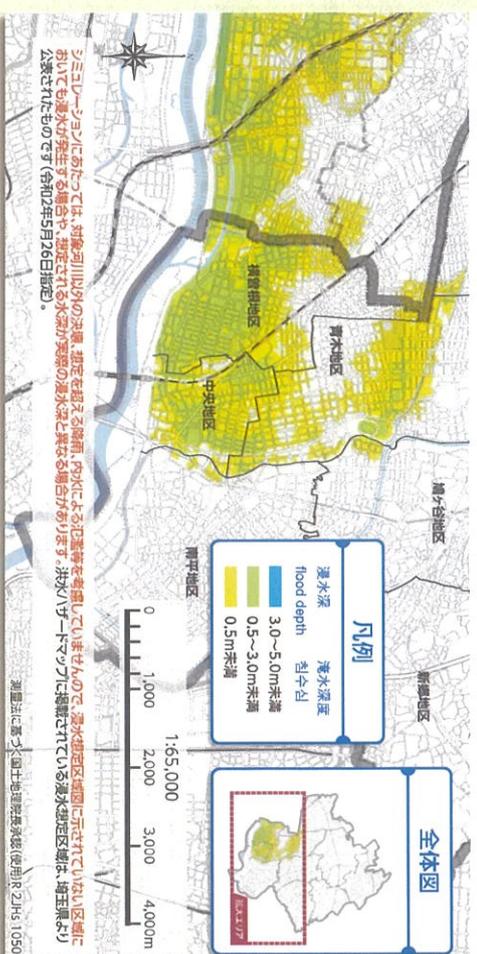


シミュレーションにあたっては、対象河川以外の決壊、想定を超える降雨、内水による浸透等を考慮していませんので、浸水想定区域図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。おたけハザードマップに掲載されている浸水想定区域は、埼玉県より公表されたものです（令和2年5月26日推定）。

測量法に基づき国土地理院長承認（使用）R2JH5 1050

## 菖蒲川・笹目川洪水ハザードマップ

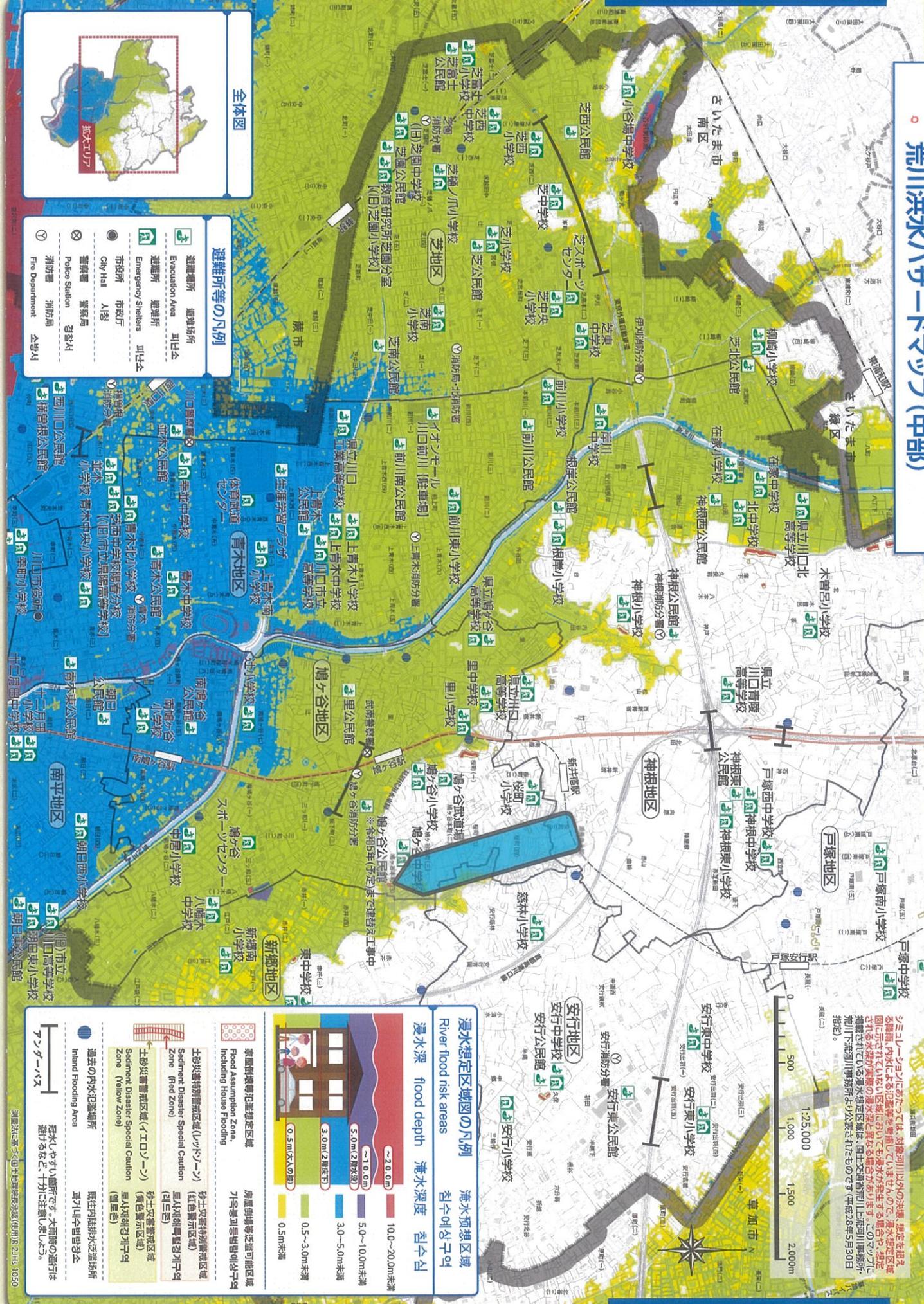
このマップには、24時間の総雨量を690mmと想定する降雨により、菖蒲川・笹目川において越水や堤防の決壊等が発生した場合に想定される浸水範囲、深さを示しています。



シミュレーションにあたっては、対象河川以外の決壊、想定を超える降雨、内水による浸透等を考慮していませんので、浸水想定区域図に示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。おたけハザードマップに掲載されている浸水想定区域は、埼玉県より公表されたものです（令和2年5月26日推定）。

測量法に基づき国土地理院長承認（使用）R2JH5 1050

荒川洪水ハザードマップ(中部)



シミュレーションにあたっては、対象河川以外の河川、想定を超える降雨、内水による氾濫等を考慮していませんので、浸水想定区域図に示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される洪水は、実際の浸水とは異なる場合があります。このマップに掲載されている浸水想定区域は、「国土交通省荒川上流部川事務所」が指定している浸水想定区域図に基づいて作成されたものです。(平成28年5月30日指定)

浸水想定区域図の凡例

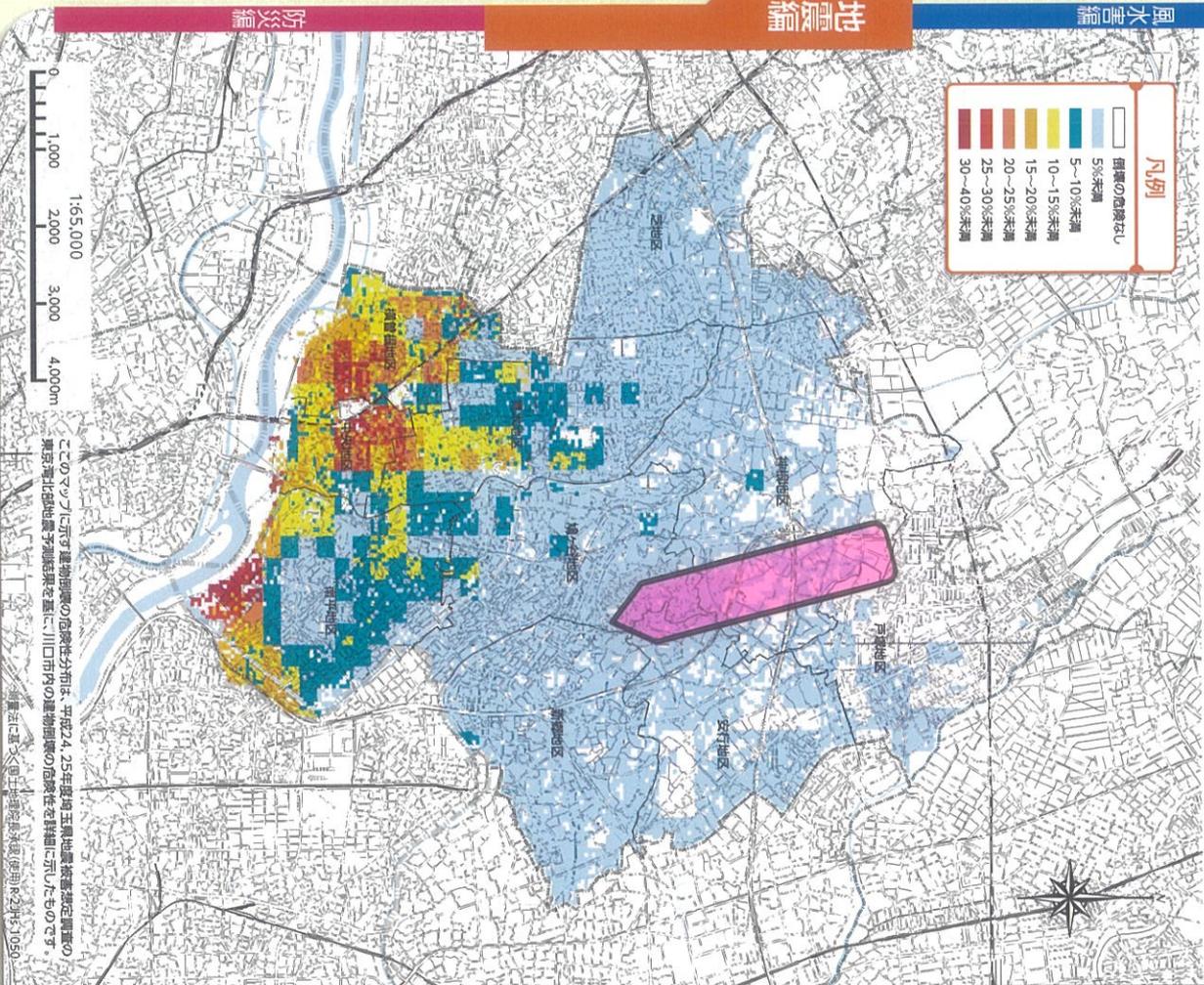
River flood risk areas	浸水深	flood depth	浸水深度	浸水予測区域	침수예상구역
Red	~2.0, 0.0m	10.0~20.0m未満	10.0~20.0m未満	Red	10.0~20.0m未満
Orange	0.0, 0.0m	5.0~10.0m未満	5.0~10.0m未満	Orange	5.0~10.0m未満
Yellow	0.0, 0.0m (2階浸水)	3.0~5.0m未満	3.0~5.0m未満	Yellow	3.0~5.0m未満
Light Yellow	0.5, 0.5m (2階浸水)	0.5~3.0m未満	0.5~3.0m未満	Light Yellow	0.5~3.0m未満
White	0.5, 0.5m (1階浸水)	0.5m未満	0.5m未満	White	0.5m未満

避難所等の凡例

避難場所	避難場所	避難場所	避難場所
避難場所 (Green)	避難場所 (Blue)	避難場所 (Red)	避難場所 (Yellow)
避難所 (Green)	避難所 (Blue)	避難所 (Red)	避難所 (Yellow)
避難所 (Green)	避難所 (Blue)	避難所 (Red)	避難所 (Yellow)
避難所 (Green)	避難所 (Blue)	避難所 (Red)	避難所 (Yellow)

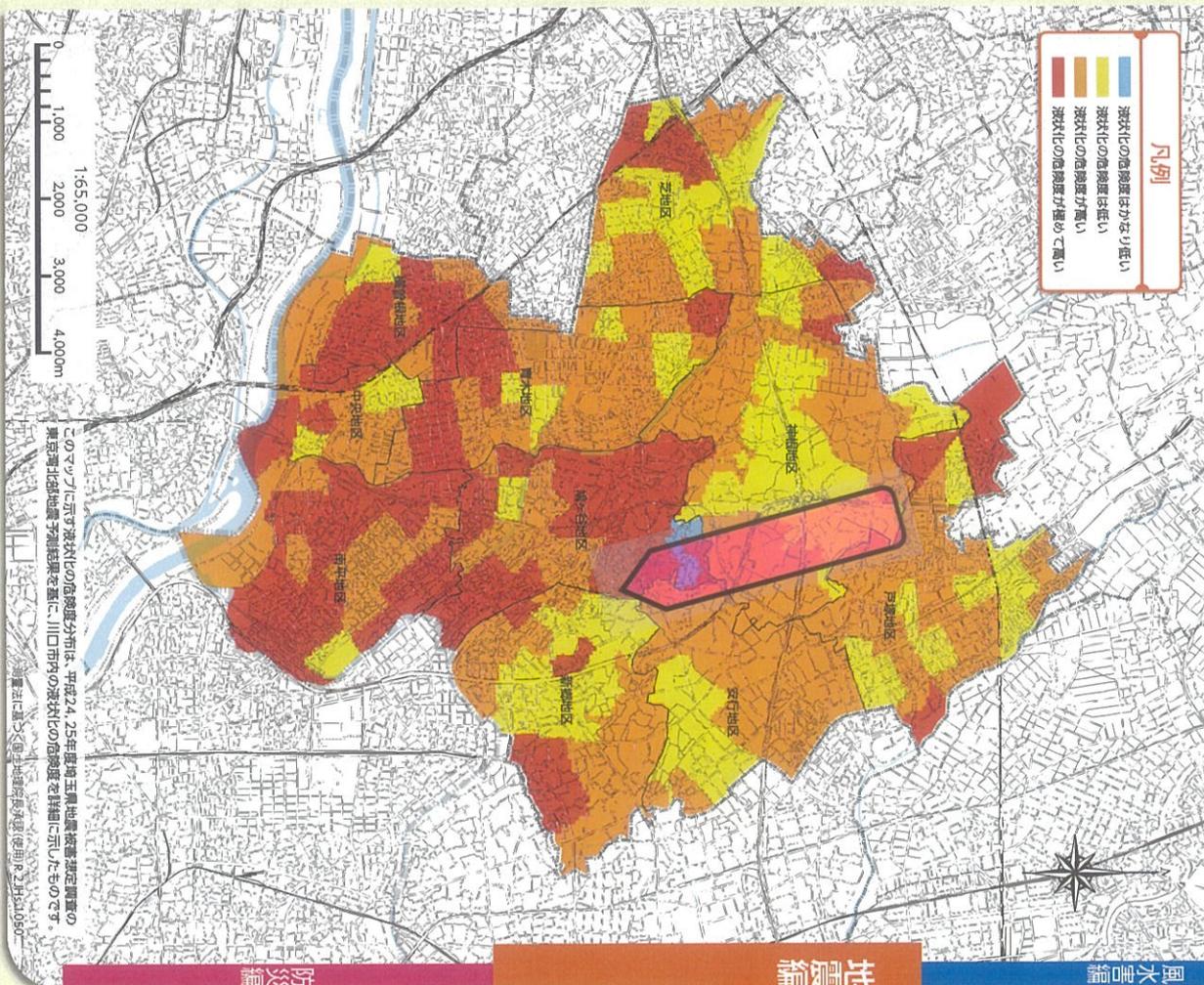
## 建物被害予測マップ(地域の危険度マップ)

建物被害予測マップは、首都直下地震が発生した際の市内の想定震度を用いて、町丁目別に集計された構造別・建築年次別の建物データベースから倒壊被害の危険性を予測したもので、危険がある場所のメッシュを赤(建物全壊棟数率30%~40%未満)から白(倒壊の危険なし)の8段階で色分けしています。



## 地盤の液状化危険度マップ

地盤の液状化危険度マップは、想定震度を「震度6強」として、地形や地盤の状況から液状化の危険性を予測したもので、液状化危険度を町丁目別に赤(危険度が極めて高い)から青(危険度がかなり低い)の4段階で色分けしています。







# 川口市上空における南風時の新飛行経路

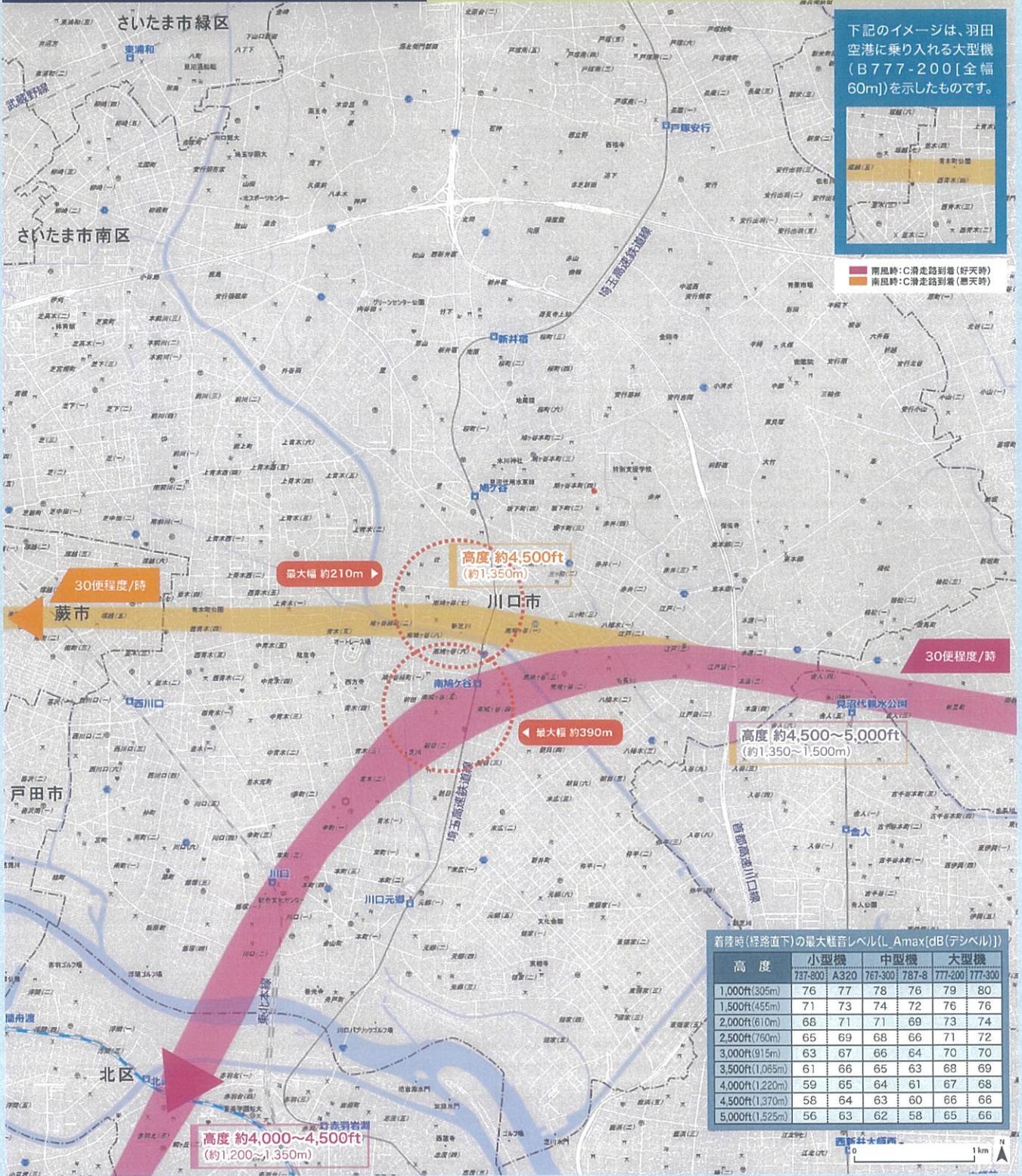
南風時の運用は、年間の約4割と推定(川口市上空では着陸機のみ)  
 運用時間: 15時~19時(切替時間を含むため、実質3時間程度の運用)

※上記以外の時間帯については、現行の飛行経路で運用  
 ※現行経路(南風運用)では、全ての着陸便が千葉県上空を通過しています  
 ※この飛行経路は、シミュレーションにより想定される航空機の運航経路を示したものです

下記のイメージは、羽田空港に乗り入れる大型機(B777-200[全幅60m])を示したものです。



■南風時:C滑走路到着(好天時)  
 ■南風時:C滑走路到着(悪天時)



着陸時(経路直下)の最大騒音レベル(L<sub>A</sub>Max[dB(デシベル)])

高度	小型機		中型機		大型機	
	737-800	A320	767-300	787-8	777-200	777-300
1,000ft(305m)	76	77	78	76	79	80
1,500ft(455m)	71	73	74	72	76	76
2,000ft(610m)	68	71	71	69	73	74
2,500ft(760m)	65	69	68	66	71	72
3,000ft(915m)	63	67	66	64	70	70
3,500ft(1,065m)	61	66	65	63	68	69
4,000ft(1,220m)	59	65	64	61	67	68
4,500ft(1,370m)	58	64	63	60	66	66
5,000ft(1,525m)	56	63	62	58	65	66

### 騒音環境と航空機騒音の程度について

騒音レベル(L<sub>A</sub>Max [dB(デシベル)])

- 電車のガード下 100dB
- 大声、騒々しい工場、パチンコ店 90dB
- 幹線道路、掃除機、騒々しい街頭 70~80dB
- 街路沿いの住宅街 65~75dB
- 通常の話し声 50~70dB
- 静かな事務所内 50dB
- 静かな室内、ささやき声、深夜の住宅街 30~40dB
- 耳で聞える限界 0dB

飛行機の音 ※2 60~80dB

### 現状(航空機が飛んでいない時)の騒音レベル

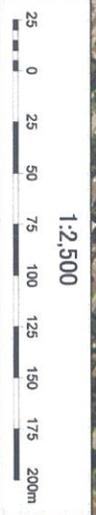
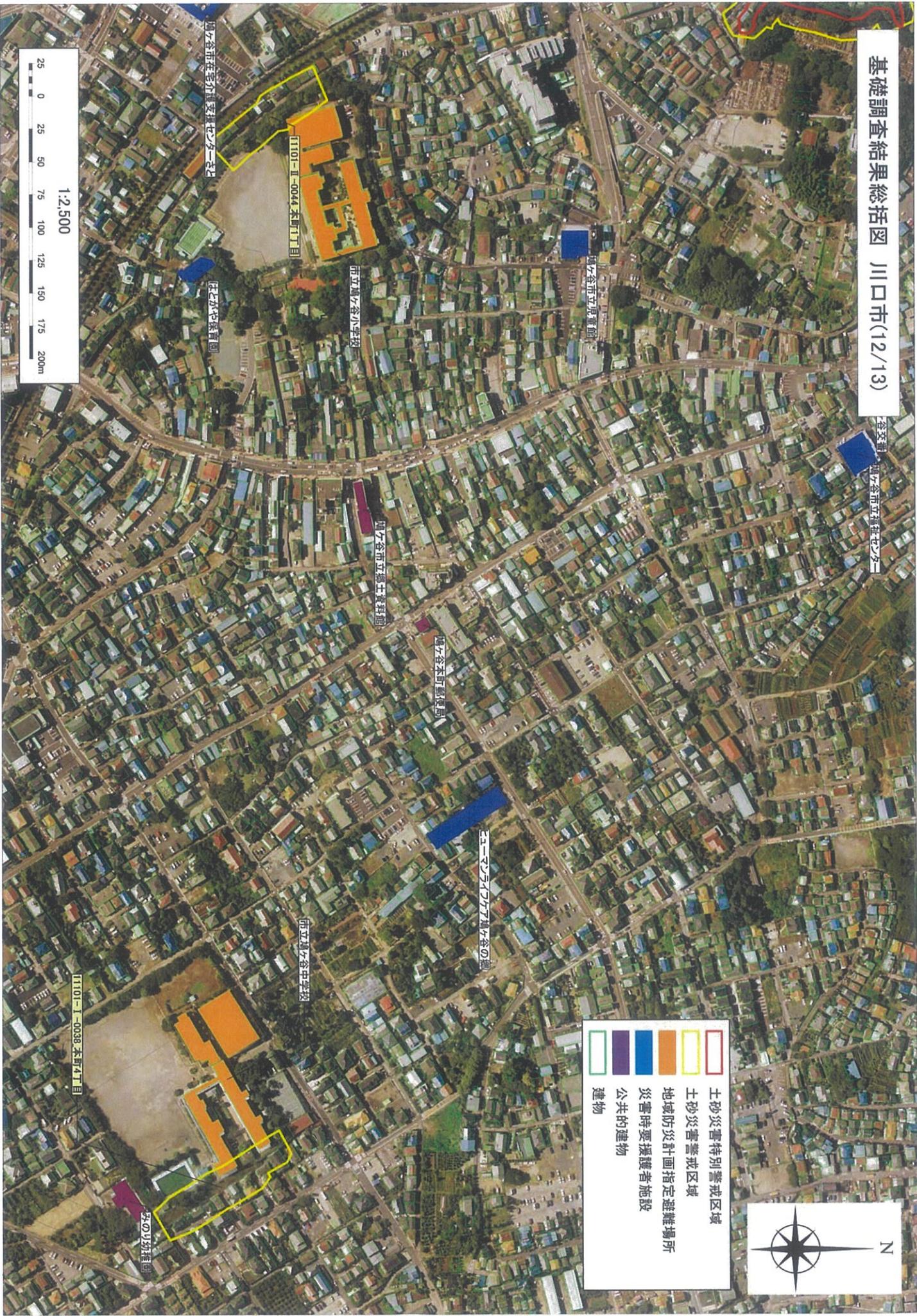
- 住宅街(川口市栄町付近)  
 平均値: 約55dB  
 瞬間最大値: 約74dB
- 駅前(川口駅前)  
 平均値: 約65dB  
 瞬間最大値: 約80dB
- 幹線道路(岩槻街道沿い)  
 平均値: 約64dB  
 瞬間最大値: 約78dB

※10分程度の簡易測定による参考値

- 着陸時(経路直下)の騒音レベルの騒音値は、過去の航空機騒音調査によって取得したデータベースから、飛行経路下における地上観測地点での騒音値を推計した値です。  
 ※航空機1機が観測地点の真上を通過する際に騒音値がピークを迎えるという前提にたって、計算上求められる騒音のピーク値。
- 実際の騒音値は、重量等の運航条件や風向き等の気象条件によって変動幅があります。
- 航空機の音は飛行経路から離れると聞こえにくくなります。
- 2つの飛行経路を同時に航空機が飛行し、それぞれの音が70dBと75dBだった場合、2つの経路の中間地点で聞こえる音の大きさの値は76~77dB程度となります。

※1 デシベルとは、音の強さを示す単位(音圧)。騒音レベル(L<sub>A</sub>[dB])での瞬間最大レベルを示したものを示したものを示した。  
 ※2 飛行機の音は、昼間着陸時で2,000ft(約610m)以上の高度で飛行する場合のピーク騒音。  
 (一) 空港振興・環境整備支援機構資料より国土交通省作成

基礎調査結果総括図 川口市(12/13)



	土砂災害特別警戒区域
	土砂災害警戒区域
	地域防災計画指定避難場所
	災害時要援護者施設
	公共的建物
	建物



川口市立第一中学校

川口市立第一中学校